



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe

〒350-0046 川越市菅原町7-16

tel : 049-226-2491 fax : 049-226-2304

c/o Kawagoe YMCA, 7-16 Sugawara-cho, Kawagoe, Saitama 350-0046 Japan

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 19-11

5月号

発行2018年5月15日

Chartered 1998

会長	吉野 勝三郎	クラブ会長主題	「クラブ20年の歴史を振り返り、EMCにつなげよう！」
副会長	林 京二	国際会長主題	「Let Us Walk in the Light-Togetherともに、光の中を歩もう」
	松川 厚子	アジア会長主題	「Respect Y's Movement ワイズ運動を尊重しよう」
会計	山崎 純子	東日本区理事主題	「Extension Membership & Conservation 広げよう
書記	森下 千恵子		ワイズの仲間」
		関東東部部長主題	「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」

5月

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人が私につながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。

ヨハネによる福音書 15章5節

“I am the vine; you are the branches. If you remain in me and I in you, you will bear much fruit; apart from me you can do nothing. (John15:5)

続けておられます。埼玉YMCAの歴史と、ボランティアの経験を話してくれることになりました。

2018年4月度 例会報告

吉野 勝三郎

4月26日(木)午後6:00、利根川太郎・恵子夫妻の自宅で開催しました。このような例会は、久々振りで、食べ物は各自持ち寄りの、ポトラック形式。利根川家には飲み物は豊富にあるので、持参不要と聞いていたので、皆さん、思い思いの食べ物持参での例会となりました。



クラブから持参したギャベルで開会点鐘後、「ワイズの信条」。

普段は、文字を見ながらこの信条を参加者全員が唱和しますが、今回は、会長がリードしながら、書類なしで、どこまで諳んじているか、自己点検する機会となりました。その後、早速乾杯に移り、しばらくは食事の時間。山本剛史郎メンからは、若かりし頃中東の旅先で覚えたという、「マグルーバ」を、その名のとおり、なべから大皿に一気にひっくり返す実演。思わず、皆さん、大喝采。

食事の間は、利根川太郎メンが関わっている、「科学の甲子園全国大会」のビデオを鑑賞。この大会は、今年で7回目を迎え、3月16日(金)~19日(月)の4日間、さいたま市で開催されました。第1回から3回までは、甲子園の名に因んで、兵庫県西宮市で、4回から6回は、茨城県つくば市で開催され、今年か

2018年4月の統計 (4月26日)

在籍11名 出席者8名 出席率73%

2018 5月例会プログラム

日時: 5月18日(金) 午後6:00~

場所: 川越YMCAセンター 2階

- ・開会点鐘 吉野勝三郎会長
- ・ワイズソング、ワイズの信条 一同
- 卓話: 大迫 裕男氏

- ・川越クラブ20周年について
- ・川越クラブ次年度活動計画について
- ・その他
- ・閉会点鐘 吉野勝三郎会長

※大迫さんは、埼玉YMCAの創成期から関係され、埼玉YMCAの生き字引と言える方です。一方、得意のスペイン語を活かして、スペイン語を母国語とする人達の相談役として長年奉仕され、今でもその活動を

らさいたま市が会場となってそうです。第1回の優勝



は、埼玉県立浦和高校だったので、さいたま市に会場が回ってきたのでしょうか。なお、今年の優勝校は、神奈川県の栄光学園でした。

諸事報告では、

- 一 寄せ書きの手紙で川越ワイズへの入会を勧誘した、工藤岳男さんから、丁寧な断りの手紙をもらったこと。
- 一 林京二メンが退会希望を出され、吉野会長と電話で話し、本人の状況から、退会を認めざるを得ないだろうとの報告があった。20年前のチャーターメンバーですが、参加者全員が退会やむを得ずという結論になり、退会の手続きに入ることにした。
- 一 川越市内の空き家対策として、連雀町にオープンしたお店を見学してきた山崎純子メンと吉野勝三郎メンから報告があり、今後、英会話喫茶など、川越クラブとしての新しい活動の端緒に繋がるような可能性を求めて、今回知り合った人と交流を深めることにした。
- 一 英語による川越案内のサポートなどについても、利根川恵子メンを中心に調べた結果の報告があり、これらの活動との接点についても調査を継続することにした。
- 一 東日本区大会では、川越クラブの“紅あか”のPRとさつまいもを素材にした加工菓子の即売のため、ブースを申し込むことにした。なお、沼津大会の期間中に販売する、加工菓子60パック用意することにした。



一日帰りお出かけ例会は、8月23日(木)足利のココファーム行きを決めた。今後、埼玉県内の他ク

- ラブにも呼びかけて、参加者を募ることにした。
- 一 国際BF代表受け入れを決めた。6月5日(火)午後6:00エルミタージュで、関東東部歓迎夕食会。当日、川越市内泊。翌6日には、川越工業高校、喜多院を視察後、次の目的地である横浜に向かう予定。5日(火)の夕食会には、川越クラブから多くのメンバーが参加することを期待する。
- 一 5月例会は、会長の都合他から、5月18日(金)午後6:00にYMCA川越センターで開催することとした。

以上のように、多くの話し合いがなされ、お酒も進み、本当に楽しい例会となりました。11階のすばらしいご自宅を開放してくれた、利根川夫妻に心から感謝して、例会を終りました。

東日本区関東東部第3回評議会報告

森下千恵子

去る4月21日(土)東京YMCA東陽町コミュニティセンターにおいて関東東部第3回評議会が開催されました。川越クラブからは山崎さん、吉田さん、わたくし森下が出席しました。

関東東部書記青木一芳氏の司会で、関東東部部長の長尾昌男氏の開会点鐘により評議会が始まりました。東日本区理事方針、活動報告が紹介され、次いで長尾部長により関東東部部長報告がありました。今後の区、部関係の行事予定を見るたびにどれだけ参加できるかなどと自分の仕事のスケジュールが頭の中をよぎります。

事業活動報告ではわが川越クラブの吉田公代さんが国際・交流事業活動報告をしました。いつも吉田さんの落ち着いた報告の声のトーンはうらやましい。国際・交流は今更ながらですが、国際と交流の間の「・」が忘れられてしまう事がままあるようです。国際的な交流をする事業、ではありません。使用済み切手の収集については、収集の手間や収集量に対してかかる経費についての是非があり議論の余地があるようです。質問も活発な意見交換もありました。

川越クラブの活動報告については吉野会長の代理として私が報告しましたが、毎回上手くは報告をまとめられなくて反省しきりです。休憩を挟んで議事になりました。6件の提出議案がすべて可決されました。

各事業、クラブ報告を拝聴し、何かまだできそうな事、してみたい事など、なんとなく、何でしょうか根拠なく明るい気分になって帰ってきました。

YMCA 報告

・新採用職員の紹介

5月から新たに川越・浦和センター兼務の職員が加わりました。古川航介(ふるかわこうすけ)さん33歳です。これまで病院でケースワーカーとして勤務されていました。道産子出身の元気なスタッフです。

野外活動も大好きとのことで日曜日のグループ活動にも参加します。どうぞよろしくお願いいたします。

<国際フェアに参加しました>

YMCAでは、毎年5月に市民の森・見沼グリーンセンターで行われる「国際友好フェア」にブースを出しています。これは、市民同士の触れ合いの場、世界の文化を理解する機会として、毎年さいたま市国際交流協会が主催しているイベントです。今年もこのイベントにトースター&小江戸Yキッズの子どもたちと出かけました。様々な団体の活動紹介があり、子どもたちは、仲間やリーダーと一緒にお小遣いを使って世界の料理を食べたり、おみやげを買ったりして楽しい1日を過ごしました。



川越クラブココファームワイナリー見学ツアー

足利ココファームワイナリー見学にいきませんか。

川越クラブでは、来る8月23日(木)足利市にあるココファームワイナリーツアーを行います。

ココファームワイナリーは、ここみ学園が障害者の自立支援を行う場として始めたものです。

知的障害を持った人たちがいきいきとして働く醸造所。「慈善ではなく、おいしいから」2000年、2008年のサミットでも使用されました。

今回は、ワイナリー見学とここみ学園についてお話を聞くツアーです。見学のあとはワイナリーでランチをいただきます。

午後は足利市内観光をします。

参加希望、またはツアーに興味のある方は下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】

E-mail:yskawagoetour@gmail.com

TEL:090-3536-0509

川越クラブ 森下千恵子



===編集後記===

ゴールデンウィークを皆さんはどのようにすごされたのでしょうか。

私はほとんど仕事でした。もともと混雑が嫌いなので連休中の勤務を買ってでていたところもあるのですが…。

連休の後半は端午の節句があったので、菖蒲湯をと思ったのですが、仕事を終えてスーパーに寄ると、すでに菖蒲の葉は売り切れていました。年中行事を大事にする私としては不本意でしたが、我が家には男の子もいないのでまあいいかと帰りました。

子供たちが成人して彼らも忙しく子供のころのようにお祝いできなくなりましたが、心の中で社会人になった娘や甥の成長や健康を願う気持ちはいつまでも変わりありません。季節の折々に立ち止まって振り返るいい機会なのかもしれません。

C.M

